

栄中学校の社会体験学習を行いました。

平成26年10月9日(木)から10日(金)まで、栄町立栄中学校の生徒3名が社会体験学習で利根川下流河川事務所に来所しました。

河川パトロール、建設工事見学、防災施設見学、水質調査などを行い、直接見て体験することにより、河川行政に関わる様々な仕事について学習しました。

社会体験学習を通じて利根川の下流部についてまとめた、生徒のレポートをご紹介します。



栄中学校 職場体験学習 ～国土交通省～

1日目

○水質調査

1日目では、まず巡視船に乗って水質調査を行いました。利根川の河口の水を比較し、酸素の量や性質を言いました。

○防災対策

1日目の午後は、川の馬場で防災施設見学をしました。そこでは木根固めブロックや割栗石、金剛矢板などがありました。



○監視カメラ

川の近くには、監視カメラがありました。その監視カメラは利根川のいろいろな場所にあるそうです。パソコン一台でいろいろなところのカメラが見れるのがすごかったです。



2日目

○川沿いのパトロール

2日目の最初は、パトロールカーでパトロールをしました。

最初は消防署の近くにある出津地区スーパー堤防といふところに行きました。

パトロールカーでいろいろな物を見ました。



パトロールカー



○工事現場見学

工事現場見学では、実際に工事してるところをみる事が
できました。ダンプカーや、ショベルカーにのらせていただきました。工事で
使う物などがあまりさわれないので、きょうな体験ができました。



↑
工事現場



↑
ショベルカー



とダンプカー

職場体験学習を通して

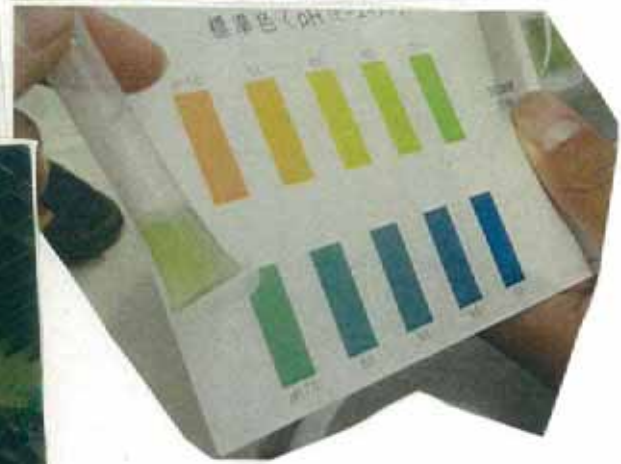
B君

～国士交通省～

① 1日目

○1日目のさいしょは事業説明を受けました。事業説明がおわってから、水質調査をするために佐原にある川の駅で船に乗りました。水質調査は船の中でパックテストというものを使いやりました。パックテストをやっている時に色が変化していきま

した。橋の下も見れることができて良かったです。



② 午後

午後は、河川防災ステーションの事を学びました。河川防災ステーションは、いつ土砂災害や洪水などがおきた時に緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬入搬出やヘリコプターの離着陸地などには必要な作業面積を確保するものです。

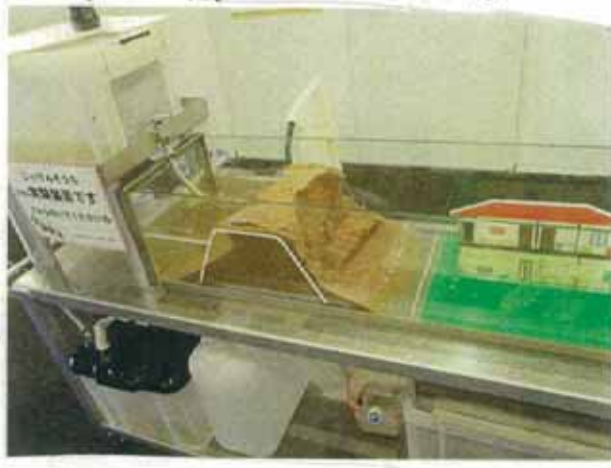
川の馬尺



川の馬尺で堤防の実験の様子を見ました。最初はゆくりと土をけがっていききました。



もう少し時間がたつと水がもれてきました。



最終的には土の部分が崩れ家の1階と2階の間の所まで水がまきまわっていました。



このようにして、堤防がくずれていってしまうという事がわかりました。こういうの

をふせぐために根固めブロックや、割栗石、金剛矢板などがあることがわかりました。

緊急用資材

←この中に 割り栗石 というこわれた堤防
の復旧に使われたり 災害現場で活
動する作業機械の足場としても使用され
石が入っています。他にも根固めブロック



洪水でこわれた堤防を復旧する資材を備蓄しています。

割り栗石

割り栗石は、10-15cm程度の厚く割いた石です。災害時の地盤崩壊防止のためにこわれた堤防の復旧に使われたり、災害現場で活動する作業機械の足場としても使用されます。

地域のくらしと安全を守る河川防災ステーション

洪水でこわれた堤防を復旧する資材を備蓄しています。

根固めブロック

根固めブロックは、コンクリート製のブロックで洪水時の制流剤として水の勢いを弱めたり、堤防がこわれたときの復旧時に使われます。

地域のくらしと安全を守る河川防災ステーション

洪水でこわれた堤防を復旧する資材を備蓄しています。

鋼矢板

鋼矢板は、現場の都合で速装可能な縦文な鋼鉄製の板です。洪水で堤防がこわれた時に、こわれた箇所に打ち込んで、元の堤防を作る時に使われます。

地域のくらしと安全を守る河川防災ステーション



この小さい石は一回使ったの
で結構すぐぐずぐずで
した。

や、鋼矢板
などが置いて
ありました。
根固めブロッ
クはステンスかお
この中にすま
数の根固め
ブロックが置
いてありました
根固めブロッ
クが置いてある
所の前に
小さい石が
ありました。
これは地震
の時に根固
めブロックが
いに大きな石
がじきない
ときに使った石
だそうです。

②日目

2日目の朝、河川パトロールカーで、河川巡視をしました。



工事現場見学

河川巡視が終わったあと、工事現場を見学に行きました。

工事現場には大きなクレーン車やダンプカー、ショベルカーなどがありました。ダンプカーや、ショベルカーには乗せてもらいました。



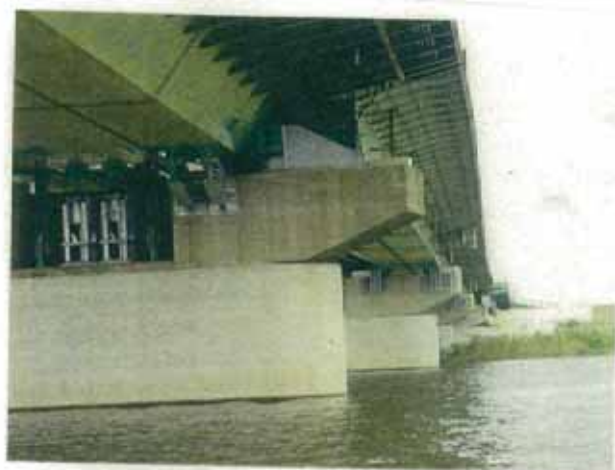
きょりをはかる
測り量なども
体験させても
かいました。

栄中学校 職場体験学習を通して C君

◎ 1日目

— 国土交通省 —

- ・利根川の概要と利根川下流河川事務所について
- ・この時間に利根川の歴史や利根川下流事務所の仕事の内容や組織について学びました。
- ・水質調査(巡視船)



・利根川で船に乗ったのは初めてで、橋を下から見るとい珍しい体験もできてとてもよかったです。
あと橋は人が生活するためにはかかせないが、上流で大雨が降ってその川の水を海に流すことだけを考えたら橋の足の部分に木などがひっかかって洪水が発生してしまうので、橋を作る時にはできるだけ足の数を減らして作れないかをよく考えて、相談して作っているということも教えてくれました。



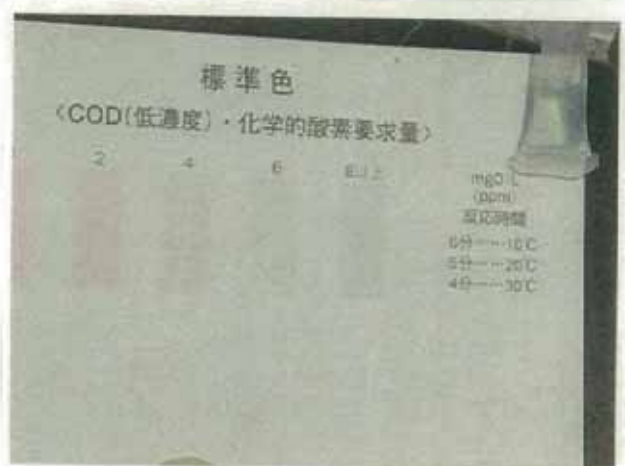
・そして船の上で簡単な水質調査を行いました。
3つの道具を使って川の水について3種類のテストをしました。



← 川の水のpHを調べた結果



↑ 川の水に含まれている酸素の量を調べた結果

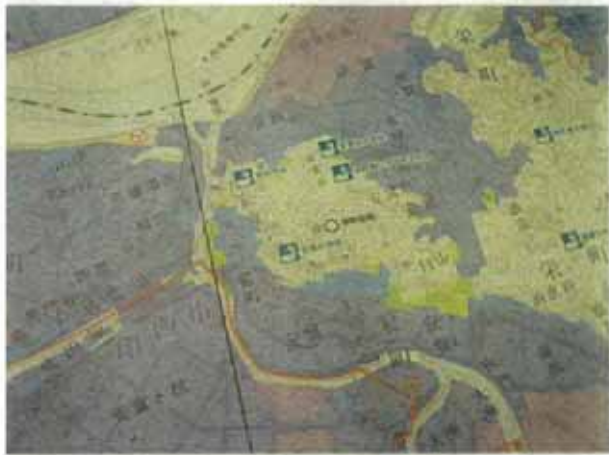


← CODというものを調べた結果

。防災対策

・佐原の川の馬場で防災施設の見学をしました。

←その防災ステーションの中ハガードマップです。
もし中学校の近くの堤防がくずれても、栄中学校の
周りは大丈夫だということが分かりました。



←次に簡単な堤防のくずれ方についての実験を
しました。



←水を入れつづけるとだんだん水でけずられて
きて、水が溢みってきて...



←堤防欠壊
・この実験から堤防の壊れ方にも3種類あると
いう事がわかりました。



←川の馬尺の広場のような所は災害が発生したら
すぐに対応できるようにしている防災ステーション
になっていることが分かりました。



・この山のような場所の下に割栗石が埋まっている



・鋼矢板も左上の写真のように埋まっている



・根固めブロックはこのように保管されていた。
・昔は埋めていたと教えてくれました。

◎2日目

〇河川管理



- ・2日目はまずこの上の写真の車で河川のパトロールをしました。
- 〇工事現場見学
- ・初めに工事概要の説明を聞いて次にいろいろな重機に乗せてくれました。



↑このダンプ車に乗りました



運転席が高くて見晴らしが良かったです。



↑次にこのショベルカーに乗せてもらいました。



・中にいろいろあって操縦するのは難しいんだらうなと思いました。



最後に測量をやらせてもらいました。



とても正確でした。

1つで100万円するというのは驚きました。